

# 「AT-4000N 補足資料」 データ変換手順について

### 概要

本資料は、「AT スケジュールデータ変換ソフト(AT-D39S ⇒ AT-4000N)」を使用して、当社の従来製品「AT-D39S シリーズ」 (注) で使用する「カードライトアダプタ CWA-200/CWA-100」に添付される「AT-D39SⅢ データ入力ソフト /AT-D39S データ 入力ソフト」で作成された各種データを、「AT-4000N データ入力ソフト」で使用できるようにするための変換手順について記 述しています。

(注) 当社の AT-D39S シリーズについては、「3 回線音声応答装置 AT-D39SⅢ / AT-D39SⅡ / AT-D39S」が該当します。

※「カードライトアダプタ CWA-200」:本書では、以下「CWA-200」と記します。

※「カードライトアダプタ CWA-100」:本書では、以下「CWA-100」と記します。

※「AT スケジュールデータ変換ソフト(AT-D39S ⇒ AT-4000N)」:本書では、以下「変換ソフト」と記します。

### パソコンの動作環境および作業手順

#### ■ パソコンの推奨仕様

データ変換手順を実施するためにご使用いただくパソコンの動作環境は以下のとおりです。

- ・OS :Windows 11/10 日本語版
- ・CPU : OS が推奨する環境以上
- ・メモリ : OS が推奨する環境以上
- ・ハードディスク : 500MB 以上の空き容量
- ※ 空き容量が少ないと、正常に登録ができない場合があります。
- ・ディスプレイ : 解像度 1024 × 768 ドット以上、画面の色 High Color(16bit) 以上
- ・USB ポート
   : CWA-200 または CWA-100 が接続できること
   ※ CWA-200 と CWA-100 の 2 製品をご購入されている場合は、CWA-200 を接続してください。 (CWA-200 と CWA-100 を同時に接続しないでください)
- ・USB インタフェース: USB 2.0

※ Windows 11/10 は米国 Microsoft Corporation の商標です。

#### - 免責事項について

お客様が変換ソフトを使用し、または運用した結果、直接的または間接的に生じる損害について、当社は一切責任を負いませんので あらかじめご了承ください。

### ■ 作業手順

以下の「事前準備」および「ステップ1」から「ステップ4」の順で作業を実施します。

- ・事前準備
- ・ステップ1:変換ソフトのインストールと起動
- ・ステップ2:変換用データの準備
- ・ステップ3:データ変換の実施
- ・ステップ4:変換データの読み込み

### 事前準備

変換ソフトを使用するパソコンには、事前に「AT-D39SⅢ データ入力ソフト /AT-D39S データ入力ソフト」および「AT-4000N データ入力ソフト」がインストールされていることを確認してください。

### ■ 変換ソフトのダウンロード

① ほかのソフトをすべて終了します。

- ② インターネットに接続して、Windows Update によりご使用のパソコンを最新の状態に更新してください。
- ③ 当社のホームページ(https://www.takacom.co.jp/)より、「AT スケジュールデータ変換ソフト(AT-D39S ⇒ AT-4000N)」をダ ウンロードしてください。

④ ダウンロードした圧縮ファイルを任意のフォルダに解凍してください。

# — STOP お願い -

● 圧縮ファイルの解凍場所に、「C ドライブ」直下や「Program Files」などのシステムフォルダを指定しないでください。

# ステップ1:変換ソフトのインストールと起動

変換ソフトは、必ず Administrators グループに所属している(管理者権限のある)ユーザーでログオンしてインストールしてく ださい。インストールは次の手順で行います。

#### ※ 画面は Windows 10 の例

① 解凍したフォルダの「Setup.exe」をダブルクリックします。

- ② ユーザーアカウント制御画面の [はい] ボタンをクリックします。
  - ・セットアップ開始画面が表示されます。
  - ・以降は画面の指示に従ってインストールを進めます。
- ③ インストール準備完了画面で [インストール] ボタンをクリックします。 ・インストールが開始されます。
  - ・インストールが終了すると、セットアップ完了画面が表示されます。





- AT 2792-8F-9実験ソフト (AF C038\* AT 400010 セッドア・ブ □ × AT 2792-8F-9実験ソフト (AT-3395-AT-400010 セットア・ブラ・・・ AT 2792-8F-9実験ソフト (AT-3395-AT-400010 セットア・フラ・・・ (周期のエルーンに 7279-19-10-10 第1730-107-9実験ソフト (AT-3395-AT-400010 セットア・フラ・・・ (周期のエルーンに 7279-19-10-10 第1730-107-9実験ソフト (AT-3395-AT-400010 セットア・フラ・・・ の (日本3395-AT-400010 セットア・フラ・・・ (日本3395-AT-400010 セットア・フラ・・ (日本3395-AT-400010 セットア・フラ・ローン・ (日本3395-AT-400010 セット・ (日本3395-AT-400010 セット・ (日本3395-AT-400010 セット・ (日本3395-AT-400010 セット・ (日本3395-AT-400010 セット・ (日本3395-AT-400010 セット) (日本3395
- ④「AT スケジュールデータ変換ソフト(AT-D39S ⇒ AT-4000N)を実行する」 のチェックボックスにチェックがあることを確認して、[完了] ボタンをク リックします。



・以降、Ver.1.0.0.0の画面例を使用します。

⑤ メニュー画面をデスクトップの隅に移動させておきます。

### ステップ2:変換用データの準備

「AT-D39SⅢ データ入力ソフト /AT-D39S データ入力ソフト」を使用して、パソコンや外部メモリまたは、フラッシュメモリー カード(以下、「メモリーカード」と記します)に保存されている各種のデータを変換用データとして作成します。 「AT-D39S データ入力ソフト」を使用する場合は、「メモリーカードに保存されているデータから作成する場合」(6ページ) により変換用データを作成してください。

#### ■ パソコンや外部メモリに保存されているデータから作成する場合

「AT-D39SIII データ入力ソフト」の場合は、パソコンや外部メモリに保存されているデータを、変換用データとして作成する ことができます。このとき、音声合成により作成されたメッセージのテキスト内容が「AT-4000N データ入力ソフト」に引き 継がれます。

※ 画面は Windows 10 および「AT-D39SIII データ入力ソフト (Ver 3.02)」の使用例

① デスクトップ画面などに「変換元データの出力先フォルダ」

② デスクトップ画面において、スタートボタンを右クリックし

③ キーワード入力欄に「AT-D39S」を入力して検索された「AT-

D39SⅢ データ入力ソフト」をクリックします。

て表示されるメニュー画面から、「検索」をクリックします。

を作成します。 【作成例】

デスクトップ画面に[変換元]フォルダを作成

 

 変換元データの出力先 フォルダを作成します。

 変換元

 フォルダを作成します。

 プォルダを作成します。

 クリックします。

 アパル各主地定してま行(6)

 メヤットダウンまたはサインアPLU)

 アスフレイの

○ ここに入力して検索

右クリックします。

・キーワード入力欄が表示されます。

- ④ メニュー画面の[ファイルの編集]ボタンをクリックします。 ・AT-D39S ファイル (atp ファイル)の選択画面が表示されます。
- Abga-be

   1

   新規作成

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1

   1
- ⑤ AT-D39S ファイル(.atp ファイル)が保存されているフォ ルダを確認して、[キャンセル]ボタンをクリックします。
   ・保存先を確認します。(例:Eドライブ)



クリックします。

- ⑥手順⑤で確認したフォルダをエクスプローラーなどで開き、 AT-D39S ファイル (.atp ファイル) を手順①で作成した「変 換元データの出力先フォルダ」にコピーします。
- | 2
   = | ポリューム(E)
   ファイル ホーム 共有 × ーム 共有 表示 0 ✓ ひ // ボリューム(E)の検索  $\leftarrow \rightarrow \checkmark (\uparrow = \rightarrow PC \rightarrow \pi J_{2-L(E)})$ 细箱 サイズ シウジロート
   デスクトップ
   ドキュメント 高古屋支店.atp 2015/02/23 16:09 ATP ファイル 93 KB 📰 ピクチャ 📕 र्टन्त्र ■ C 11 ↓ ミュージック ■ ローカル ディスク (C) \_\_\_ ボリューム (E:) 1 個の項目 1 個の項目を選択 92 1== コピーします。



クリック スケジュール 一 します。 メッセージの編集 新規作成 1 ファイルの編集 J. カードの編集 ?〕操作説明 🔳 終了



フォルダを確認します。

📙   🛃 📕 🖛   AT-D39SI	I						-		×
ファイル ホーム 共有	表	示							~ 🕐
← → × (↑ 📕 « □-	-カル テ	イスク (C:) → DATA →	AT-D39SIII	~	ō	P	AT-D3	9SIII Øł	<del>矣</del> 索
🕹 ダウンロード	^	名前	更新日時		種類		サイ	X	
🔜 デスクトップ		ch001.bin	2020/01/16 14:43		BIN 3	ファイル		161	KB
🔯 ドキュメント		ch002.bin	2020/01/16 14:43		BIN	アアイル		113	КВ
■ ピクチャ		ch003.bin	2021/09/08 10:38	BIN ;		アイル	/ 11		КB
📕 ビデオ		ch004.bin	2020/01/16 14:43		BIN 🕽	アイル		145	(B
▲ ミュージック		ch005.bin	2020/01/16 14:44		BIN ,	ファイル		177	(B
ローカル ディスク (C)		Work.dat	2021/09/08 11:20		DAT	ファイル		102	(B
- ボリコーム (E:)									
6個の項目 5個の項目を	¥19 7	ne KR							8== (20)
-   12 -   12 h T				レコ	:9	0	_		
						-			
ファイル 小一ム 共有	<u>x</u>	亦							~ 0
← → ~ (↑		~	õ	P	変換元	の検索			
🖊 ダウンロード	^	名前	^		更新日	時			種類
📰 デスクトップ		ch001.bin			2020/	01/16 1	4:43		BIN 771
🔠 ドキュメント		ch002.bin			2020/01/16 14:43				BIN 771
📰 ピクチャ		ch003.bin			2021/	09/08 1	0:38		BIN 771
📓 ビデオ		ch004.bin			2020/	01/16 1	4:43		BIN 771
🎝 ミュージック		ch005.bin			2020/	01/16 1	4:44		BIN 771
		🔄 名古屋支店.atp			2015/	02/23 1	6:09		ATP 77

늘 ローカル ディスク (C:) 🕳 ポリューム (E:)

6 個の項目 5 個の項目を選択 709 KB

- ⑦ メニュー画面の [メッセージの編集] ボタンをクリックし ます。
  - ・メッセージの編集画面が表示されます。
- ⑧「AT-D39SⅢ データ入力ソフト」のメッセージ編集画面に おける音声フォルダを確認します。 ・保存先を確認します。(例:C ドライブ¥DATA¥AT-D39SIII)

⑨手順⑧で確認したフォルダをエクスプローラーなどで開き、 メッセージファイル (.bin ファイル) を手順①で作成した「変 換元データの出力先フォルダ | にコピーします。

(1) [戻る] ボタンをクリックします。
 ・メニュー画面が表示されます。

メッセージの編集 「カード情報」 PC情報 - 音声フォルダ - 参照 [c¥Users¥syosida¥Desktop¥変換元 カード名 名古屋支店 ット 番号 - 単行日 - 型休み - 型休み 番号 メ 1 早朝田 場体み · 林音時間 個別 לא−אי+PC 業務終了 土曜、日曜 祝日 業務終了 土曜、日曜 20日 -15 0:00 0:00 0:00 0:00 0:00 0:00 0:00 h−F⇔PC 0:00 0:00 0:00 0:00 3 10 挨拶メッセージ 11 終了メッセージ 12 保留音 л⊸⊬→РС 
 ●
 録音频時間
 28:18

 消去
 音声をすべて消去
 □ カードにメッセージ名を上書きする 音声を作成するメニューへ 141期 30分用

> 2021/8/16(月) 10:17:37

メッセージの編集

- - Fのコピー/初期化

?創練作説明 🔳 終7

**AT-D39S**Ⅲデータ入カソフト

TAKAOM

- スケジュール - 新規作成

1

1

đ

カードの編集

音声合成 詳細設定/辞書/文書一覧 読込 保存

ファイルの編集

カードの編集

#### クリックします。

- ① 音声合成の各種ファイルを保存します。メニュー画面の[保 存]ボタンをクリックします。
  - ・フォルダの参照画面が表示されます。
- ② 手順①で作成した「変換元データの出力先フォルダ」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。
  - ・各種データが「変換元データの出力先フォルダ」に保存されます。
- ~クリックします。 音声合成 詳細設定/辞書/文書一覧 読込 保存 フォルダの参照 X ⊟ c: フォルダの作成 手順①で作成した C:¥ Calusers Calxxxxxxxx Calveskto フォルダを選択 します。 -クリックします。 選択フォルダ |c:¥Users¥xxxxxxx¥Desktop¥変換元 OK キャンセル AT-D39SIII  $\times$ 保存に成功しました。 クリック します。 OK 2021/8/16(月) 10:17:37 акаЮм **AT-D39S**Ⅲデータ入カソフト - አትንኋ-ル **1** 新規作成 メッセージの編集 レクリックします。 1 ファイルの編集 🏓 カードのコピー/初期化

?) mitten 📃 107

- [OK] ボタンをクリックします。
   ・メニュー画面が表示されます。
- ④[終了]ボタンをクリックして、「ステップ3:データ変換の実施」(9ページ)に進んでください。

### ■ メモリーカードに保存されているデータから作成する場合

「AT-D395Ⅲ データ入力ソフト」を使用して音声合成で作成されたメッセージのテキスト内容を変換対象とする場合は、「パソ コンや外部メモリに保存されているデータから作成する場合」(3 ページ)により変換用データを作成してください。 メモリーカードから変換用データを作成する場合は、音声合成で作成されたメッセージのテキスト内容は変換されません。 ※ 画面は Windows 10 および CWA-200、「AT-D395Ⅲ データ入力ソフト(Ver 3.02)」の使用例

 ① デスクトップ画面などに「変換元データの出力先フォルダ」 を作成します。
 【作成例】 デスクトップ画面に[変換元]フォルダを作成

②変換対象のデータが保存されているメモリーカードをCWA-

③ デスクトップ画面において、スタートボタンを右クリックし

④ キーワード入力欄に「AT-D39S」を入力して検索された「AT-

D39SⅢ データ入力ソフト」をクリックします。

て表示されるメニュー画面から、「検索」をクリックします。

200 に挿入して、パソコンと USB 接続します。

- 変換元データの出力先 フォルダを作成します。 変換元
- хモリ-*л*-к
- <sup>設定(N)</sup> 17,770-3-(6) 検索(5) 27(ル4を指定して気行(R) シャットダウンまたはサインアウト(U) デスクトップ(D) ■ ○ ここに入力して検索 右クリックします。

・キーワード入力欄が表示されます。

⑤ メニュー画面の [カードの編集] ボタンをクリックします。 ・カードから読込画面が表示されます。





祝日スケジュール 特定日スケジュール

🚰 AT-D395III - カードデータ

77イル(F) 印刷(P) メッセージ (M) ヘルブ(H)

取用スケ

曜日スケジュールの損失

7[	フ	アイ	1/12	保存	]を	クリ	ノツ	ク	しま	す。	)

・名前を付けて保存画面が表示されます。

⑥[次へ]ボタンをクリックします。

・曜日スケジュールの編集画面が表示されます。

ノ クリックします。

27-11/16(梁祥

カードに書込

6

- ⑧ 手順①で作成した「変換元データの出力先フォルダ」を選 択して、[保存]ボタンをクリックします。
  - ・atp ファイルが保存されます。

- ⑨ メニュー画面の [メッセージの編集] ボタンをクリックします。
  - ・メッセージの編集画面が表示されます。
- ⑩ 音声フォルダの [参照] ボタンをクリックします。
   ※ AT-D39S データ入力ソフトの場合は、[保存] タブをクリックして表示
  - される保存フォルダの[参照]ボタンをクリックします。 クリックします。



- ・フォルダの参照画面が表示されます。
- ① 手順①で作成した「変換元データの出力先フォルダ」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。
  - ・メッセージの編集画面が表示されます。



 スケワュール
 クリック

 第規作成
 「「「」」」」」」」

 第二
 ファイルの編集

 カードの編集
 アードのコピー/初期化

 1
 カードの編集







② [カード→ PC] ボタンをクリックします。
 ※ AT-D39S データ入力ソフトの場合は、[保存] ボタンをクリックします。



・メッセージが「変換元データの出力先フォルダ」に保存されます。

- [3] [OK] ボタンをクリックします。
   ・メッセージの編集画面が表示されます。
- ⑭[戻る]ボタンをクリックします。
  - ・メニュー画面が表示されます。
  - ※ AT-D395 データ入力ソフトの場合は、手順⑤以降は不要です。メ ニュー画面で[終了]ボタンをクリックして、「ステップ3」(9ページ) に進んでください。







- ⑤ 音声合成の各種ファイルを保存します。メニュー画面の[保存]ボタンをクリックします。
  - ・フォルダの参照画面が表示されます。



🄁 カードのコピー/初期化

?) 10(11)(11) 🔳 18.7\*

、クリックします。

- ⑥ 手順①で作成した「変換元データの出力先フォルダ」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。
  - ・各種データが「変換元データの出力先フォルダ」に保存されます。

- ⑦ [OK] ボタンをクリックします。
   ・メニュー画面が表示されます。
- ⑧[終了]ボタンをクリックして、「ステップ3:データ変換の実施」(9ページ)に進んでください。

 スケジュール

 新規作成

97

Ì۴.

ファイルの編集

カードの編集

音声合成 詳細設定/辞書/文書一覧 読込 保存

### ステップ3:データ変換の実施

変換用データとして作成した各種のデータを、「AT-4000N データ入力ソフト」で使用可能なデータに変換します。 ※ 画面は Windows 10 の例

 デスクトップ画面などに「変換先データの出力先フォルダ」 を作成します。 【作成例】

デスクトップ画面に[変換先]フォルダを作成

- ② ステップ1の手順⑤で、デスクトップ画面の隅に移動させた変換ソフトのメニュー画面において、「変換元フォルダ」の[参照]ボタンをクリックします。 ・フォルダーの参照画面が表示されます。
  - ※ 変換ソフトが起動されていない場合は、「補足事項(変換ソフトの起動方法)」(12 ページ)を参照して起動してください。
- ③「変換元データの出力先フォルダ」を指定して [OK] ボタン をクリックします。

- ④同様に「変換先フォルダ」の[参照]ボタンをクリックして 「変換先データの出力先フォルダ」を設定します。
- ⑤「変換元フォルダ」および「変換先フォルダ」を確認して、[変換]ボタンをクリックします。

・データが変換されます。

※ 変換元フォルダに AT-D39S ファイル (.atp ファイル) が保存されて いない場合は、以下のメッセージが表示されます。 AT 27/3-16-75(8)/7 (AT-035 \* AT-4000) ×

変換元フォルダに変換対象がありませんでした。

ОК

[OK] ボタンをクリックした後に、「ステップ2:変換用データの準備」 (3ページ)を参照してデータを保存してください。

⑥ [OK] ボタンをクリックします。

⑦メニュー画面の[×](閉じる)ボタンをクリックします。





# ステップ4:変換データの読み込み

「AT-4000N データ入力ソフト」に使用可能な各種データを読み込みます。 ※ 画面は Windows 10 の例

- ① スタートボタンを右クリックして「検索」をクリックします。
- ② キーワード入力欄に「AT-4000N」を入力して検索された 「AT-4000N データ入力ソフト」をクリックします。
   ・「AT-4000N データ入力ソフト」のメニュー画面が表示されます。

- ③[ファイル読込]ボタンをクリックします。
  - ・フォルダーの参照画面が表示されます。



④ ステップ3の手順①で作成した「変換先データの出力先フォルダ」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。
 ・AT-4000Nのデータとして読み込まれます。

⑤ [OK] ボタンをクリックします。
 ・編集画面が表示されます。
 ※ AT-D39S データ入力ソフトの場合は、手順⑥以降は不要です。



新しいフォルダーの作成(N) OK キャンセル

> 🎝 ミュージック

⑥ 編集画面の[音声]ボタンをクリックします。
 ・音声画面が表示されます。

⑦[読込]ボタンをクリックします。 ・フォルダーの参照画面が表示されます。

⑧ステップ3の手順①で作成した「変換先データの出力先フォルダ」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。
 ・AT-4000Nのデータとして読み込まれます。

⑨ [OK] ボタンをクリックします。
 ・音声画面が表示されます。

⑩[閉じる]ボタンをクリックします。

😡 ワンポイント ● AT-4000N データ入力ソフトを使用したデータの編集 および、装置への書き込みなどの操作方法については、 AT-4000N <データ入力ソフト編>の取扱説明書を参照 してください。



### 補足事項(変換ソフトの起動方法)

変換ソフトを終了した場合で、再度起動したい場合は以下のように起動します。 ※ 画面は Windows 10 の例

①スタートボタンを右クリックして「検索」をクリックします。

 ② キーワード入力欄に「データ変換」を入力して検索された「AT スケジュールデータ変換ソフト(AT-D39S ⇒ AT-4000N)」 をクリックします。
 ・メニュー画面が表示されます。



